

第1号議案

平成28年度事業報告

社会福祉法人コミュニティーネットワークふくい

平成28年度は、国において社会福祉法人制度改革が制定され、社会福祉法人に対して、今まで以上に事業の透明性向上など要求が高まってきた。当法人としても新たな政策に対応した法人改革を行うことを基本方針とし、さらに、重点施策に基づいて、事業計画の達成と信頼される社会福祉法人を目指し、役職員一丸となって、福祉サービスの質の向上や環境整備に取り組んだ。

1. 事業計画執行状況表

平成28年度事業計画
法人組織改革
<ul style="list-style-type: none">法人本部の拠点変更（福井市南居町から福井市島寺町へ）平成29年7月7日実施本部内に企画事業室を新たに新設し、直近の問題点改善を図った。事業の見直し
NEXCO 中・西日本高速道路のり面作業の契約解除 解除日 平成28年7月31日（中日本）、11月30日（西日本）
小浜事業所かみかと寮（グループホーム） 事業廃止日 平成29年1月31日
福井事業所関東店（就労継続A型事業） 事業廃止日 平成29年3月31日
福井事業所美山作業所（生活介護事業） 事業廃止日 平成29年3月31日
公益事業（若狭町集合住宅管理受託事業） 事業廃止日 平成29年3月31日
渚の交番事業 管理・運営終了 事業終了日 平成29年3月31日
運営重点施策
予算進捗管理
<ul style="list-style-type: none">予算進捗管理を四半期毎に実施した。（理事会で報告 8月10日・12月1日・3月15日）
従業員の処遇改善
<ul style="list-style-type: none">管理職やサービス管理責任者の手当の見直しを実施した。給料の見直しを実施した。研修会参加に対する助成制度を実施した。
大規模修繕等を見据えた積立金の創設
<ul style="list-style-type: none">15,000千円の積立（7月29日実施）
支援能力の向上
<ul style="list-style-type: none">支援能力向上を目指し、法人全従業員が集まる研修会の実施。（11月5日・12月3日に2回開催。合計134名参加）28年度は研修計画を作成し、当初計画以上に参加することが出来た。
新規事業の取得
<ul style="list-style-type: none">「福井県立芦原青年の家」給食業務受託事業を開始。（7月16日事業開始）

2 主な設備改修

- ① 本 部 事務所エアコン改修工事
施 工 中村設備
工事金額 1,473,120 円 (税込) 工事完了日 平成 28 年 7 月 25 日
- ② 福井事業所 非常用発電機入替工事
施 工 株式会社 山田電機
工事金額 3,240,000 円 (税込) 工事完了日 平成 28 年 12 月 28 日
- ③ 福井事業所 関東店解体工事および備品撤収費用
施 工 大和リース株式会社
工事金額 4,860,000 円 (税込) 工事完了日 平成 29 年 3 月 15 日
- ④ 若狭事業所 生活介護棟エアコン改修工事
施 工 有限会社 藤川設備
工事金額 9,720,000 円 (税込) 工事完了日 平成 29 年 3 月 20 日
- ⑤ 若狭町集合住宅改修工事
施 工 パイネック若狭株式会社 他 7 社
工事金額 40,472,010 円 (税込) 工事完了日 平成 29 年 3 月 31 日

3 助成金・補助金の受領

- ① 【助成団体】 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団
【助成内容】 平成 28 年度助成事業
送迎車輛 1 台 (トヨタ シエンタ)
総事業費 1,750,000 円
助 成 額 1,180,000 円
自己負担 570,000 円
【該当事業所】 若狭事業所
- ② 【助成団体】 公益財団法人 日本財団
【助成内容】 平成 28 年度助成事業 (福祉車輛)
送迎車輛 1 台 車いす対応車 (日産 キャラバン)
総事業費 2,627,000 円
助 成 額 2,100,000 円
自己負担 527,000 円
※オプション (4WD)、諸費用 986,340 円は助成対象外のため
最終自己負担額は、1,513,340 円
【該当事業所】 福井事業所
- ③ 【助成団体】 福井県
【助成内容】 平成 28 年度社会福祉施設整備費補助事業 (防犯整備)

- 1.110 番非常通報装置整備
- 2.監視カメラ・センサーライト整備
- 3.カメラ付きインターフォン整備

総事業費 7,204,496 円

助成額 5,402,000 円

自己負担 1,802,496 円

- 【該当事業所】
- 1.全事業所（7か所）、全グループホーム（12か所）
 - 2.小浜事業所
 - 3.あわら事業所

4 理事会

- ① 第 184 回理事会（於：本部・福井事業所） H28.5.25 開催

- (1) 平成 27 年度事業・決算報告について
- (2) 積立金について
- (3) 本部移転について
- (4) 定款変更について
- (5) 経理規程改定について

- ② 第 185 回理事会（於：本部） H28.8.10 開催

- (1) 平成 28 年度 第 1 四半期決算報告について
- (2) 経理規程改定について
- (3) 関東店撤退について
- (4) 若狭舞鶴自動車道 小浜加斗地区盛土のり面の植栽管理作業および
中日本高速道路のMウェイ緑の里プロジェクトの契約解除について
- (5) 渚の交番について

- 報告事項
- ・積立金の実施について
 - ・若狭町集合住宅施設について
 - ・福井県立芦原青年の家について
 - ・懲戒処分について
 - ・廃食油精製機の処分について

- ③ 第 186 回理事会（於：本部） H28.12.1 開催

- (1) 平成 28 年度 上期決算報告について
- (2) 平成 28 年度 第 1 次補正予算（案）について
- (3) 定款変更について
- (4) 評議員選任・解任委員会運営細則について

- 報告事項
- ・関東店撤退の進捗について
 - ・渚の交番について
 - ・美山作業所について

・役職者の任命について

④ 第 187 回理事会（於：本部） H29.2.8 開催

- (1) 評議員選任・解任委員の選任（案）について
 - (2) 評議員候補者（案）について
 - (3) 役員・評議員・評議員選任・解任委員の報酬に関する規定（案）について
 - (4) グループホームしいの実ハウスの土地寄付について
 - (5) 若狭町集合住宅について
 - (6) グループホームかみかと寮の廃止について
- 報告事項 ・渚の交番について
- ・関東店撤退の進捗について
 - ・定款変更について

⑤ 第 188 回理事会（於：本部） H29.3.15 開催

- (1) 平成 28 年度 第 3 四半期決算報告について
 - (2) 平成 28 年度 第 2 次補正予算（案）について
 - (3) 平成 29 年度 事業計画・予算（案）について
 - (4) 定款・定款施行細則の変更について
 - (5) 就業規則変更について
 - (6) 経理規程改定について
 - (7) 所長人事について
- 報告事項 ・渚の交番について
- ・関東店の進捗について
 - ・美山作業所について

5 監事監査（於：本部・福井事業所）
平成 28 年 5 月 16 日～18 日 3 日間

6 評議員会

① 第 106 回評議員会（於：丹南事業所） H28.5.23 開催

- (1) 平成 28 年度 事業・決算報告について
- (2) 定款変更について
- (3) 経理規程改定について

② 第 107 回評議員会（於：本部） H28.11.28 開催

- (1) 平成 28 年度 上半期決算報告について
- (2) 平成 28 年度 第 1 次補正予算（案）について
- (3) 定款変更について

④ 第108回評議員会（於：本部）

H29.3.13 開催

- (1) 平成28年度 第3四半期決算報告について
- (2) 平成28年度 第2次補正予算（案）について
- (3) 平成29年度 事業計画・予算（案）について
- (4) 定款変更について

報告事項 ・渚の交番について

- ・関東店撤退の進捗について
- ・美山作業所について
- ・グループホームしいの実ハウスの土地寄付について
- ・若狭町集合住宅について
- ・グループホームかみかと寮の廃止について

平成28年度 本部 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
理事 6名 (内理事長 1名) 監事 2名 評議員 13名 総務部 室 ・人材育成を目標に、新たに研修計画の作成、法人全体研修を実施した。 ・予算進捗管理の徹底を目標に、前年度まで、理事会では年に2回の報告だったが、四半期毎の財務室 報告で年4回実施した。 ・営業事業の課題改善を目標に、農地の集約化、営業部門間の連携強化を図るなど実施した。	事業概要

2 福祉活動報告

サービス	定員 ^(a)	延利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考

5 事業内訳

事業	H28年事業計画			予算額	決算額	予算対比
全体 (基本方針と目標)	①今後の人材育成に向け、従業員が知識や技術を習得できる機会創出および満足度を向上できるように福利厚生充実を図る。 ②全事業所が参加できる研修の開催。 ③大規模修繕に向けた積立金の創設。	収入	99,672	98,310	98.6%	
		支出	58,207	59,900	102.9%	
		収支差額	41,465	38,410	92.6%	

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	0	0	0	
障害福祉サービス等事業	0	0	0	
その他	99,672	98,310	△ 1,362	98.6%
事業活動収入計(1)	99,672	98,310	△ 1,362	98.6%
人件費	36,411	36,611	200	100.5%
事業・事務費	21,172	22,665	1,493	107.1%
就労支援事業	0	0	0	
その他	624	624	0	100.0%
事業活動支出計(2)	58,207	59,900	1,693	102.9%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	41,465	38,410	△ 3,055	92.6%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
事務所エアコン入替工事	固定資産	1,473		1,473	1,500	△ 27
トイレカーペット(本部移転費用)	固定資産	270		270	300	△ 30
パーテーション(本部移転費用)	固定資産	399		399	400	△ 1
付風設備(回線工事) 本部移転費用)	固定資産	324		324	300	24
看板設置	固定資産	210		210	210	0

事業報告	
①年度当初に、研修計画を作成し、それによって実施。また計画以外の研修案内が届いた際は、研修の必要性を考え、各事業所へ参加を促す。のべ150名の参加に繋がる。	事業報告
②法人内部研修を2日に分けて開催。内容は、福井県総合福祉相談所の職員の方を講師に招き、支援について(主に虐待防止)グループ研修等を実施。両日合計で134名(職員・特定職員・アルバイト)の参加となる。研修後のアンケートでは、前向きな意見も多く、今後に向けて良い結果となった。	
③7月に、15,000千円の積立を実施	
(その他) ・本部移転にともない、不用品等の処分を実施。(888千円) ・各事業所で、固定資産台帳と現物の確認を実施し整理を行う。 ・福井ケーブテレビの取材受入。現在までに、福井、丹南、おくえつ、丸岡南中放映。	

平成28年度 本部公益 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
若狭町集合住宅管理受託業務 あじさい団地 3棟 28年度当初入居数	79室 73室 年度未入居者数 71室
サンコーポラス瓜生 2棟 28年度当初入居数	60室 49室 年度未入居者数 42室

平成19年6月から委託事業開始。
平成29年3月末委託事業終了。

2 福祉活動報告

サービス	定員 (a)	延 利用者数	1日平均利 用者数 (B)	利用率 (B) ÷ (A)	備考

5 事業内訳

事業	H28年事業計画	予算額	決算額	予算対比	
全体 (基本方針と目標)	平成29年度4月の若狭町集合住宅所有権移行を見据え、若狭町との協議を継続し、退去防止、スムーズに対応可能な体制整備。	収入	25,482	24,579	96.5%
		支出	54,730	56,367	103.0%
		収支差額	△ 29,248	△ 31,788	108.7%

3 事業活動収支

事業	予算 (A)	決算 (B)	予算差額 (B) - (A)	予算対比
就労支援事業	0	0	0	
障害福祉サービス等事業	0	0	0	
その他	25,482	24,579	△ 903	96.5%
事業活動収入計 (1)	25,482	24,579	△ 903	96.5%
人件費	3,521	3,597	76	102.2%
事業・事務費	51,209	52,770	1,561	103.0%
就労支援事業	0	0	0	
その他	0	0	0	
事業活動支出計 (2)	54,730	56,367	1,637	103.0%
事業活動資金支出差額 (3) = (1) - (2)	△ 29,248	△ 31,788	△ 2,540	108.7%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
建物改修工事	修繕費	40,720		40,720	38,000	2,720

事業報告	
当初の契約では、平成29年4月に若狭町集合住宅5棟を当法人が若狭町から所有権移転(無償譲渡)を受け、事業を行っていくことになっていた。しかし、社会福祉法人では、運営・管理が困難であるため、若狭町と協議を行い、関連法人である、一般社団法人健康生きがいせほーと互助会に所有権が移譲されることになった。 しかし、所有権移譲に当たっては、建物の老朽化による大規模修繕を行うことが必要であったため、繰越金43,000千円の範囲内で修繕を行った。平成29年3月末に完了。 ・最終工事費 40,472千円 (予算38,000千円) ・主な工事内容 屋上防水工事、駐車場補修工事、破損箇所修繕工事等	

平成28年度 福井事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	事業概要
平成9年設立 【就労継続A型】平成13年4月開設（東店舎含む） ・就労継続A型 平成13年4月開設（東店舎含む） ・食品事業 併設（事業所併設約100食、県民生活センター併設） ・農業事業 福作（さつま芋、らっきょう、大根など）、委託作業（除草など） 【生活介護】平成9年4月開設 福井・今立・美山の3拠点【日中一時】平成15年5月開設 介助（入浴、排せつ、食事など）、活動（体力増進・維持（ウォーキング・リズム体操・体操トレーニング）、創作（月1回）など） 【宿泊型自立訓練・短期入所】平成9年4月開設 日常生活（掃除・洗濯・入浴・整容など）の質の向上を図るための支援・・・宿直体制あり 【グループホーム】 いづみみ 平成7年6月開設 定員5名 2階建て 賃貸・・・スプリングラウンダー設備有 みどり養 平成7年6月開設 定員6名 2階建て 賃貸 かえで養 平成15年4月開設 定員5名 2階建て 賃貸 グリーンハウス 平成23年4月 定員7名 2階建て 自己所有・・・スプリングラウンダー設備有、宿直体制あり	事業概要

2 福祉活動報告

サービス	延べ利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考
就労継続型	28	5,740	80.0%	4店東店舎含む
生活介護・日中一時	40	9,938	90.0%	生活介護 3ヶ所
宿泊型自立訓練	20	5,374	70.0%	
短期入所	6	1,571	70.0%	
グループホーム	23	7,355	90.0%	4ヶ所

5 事業内訳

事業	事業計画	実績	予算額	決算額	予算対比
全体（基本方針と目標）	やがいのある楽しい職場づくり、利用者は安心安全な自主自立の暮らしを目指す。	収入 支出 収支差額	301,717 276,288 25,429	289,529 287,553 21,976	96% 97% 86%
就労継続型	社員自らが中心となって働く現場となるよう、体制作りを努める。 生活介護・食数維持、イベント等受注の確保。 客の選定に努め売上増を拡大する。 水田を契約して規模拡大を目指す。 委託作業を増やす	収入 支出 収支差額	121,417 117,383 4,034	115,627 116,766 △ 1,139	95% 99% △ 167%
生活介護 日中一時	利用者の満足度100%をめざす 研修に参加し、職員の高の向上を図る。	収入 支出 収支差額	90,642 86,253 4,389	88,257 79,133 9,124	97% 92% 208%
宿泊型自立訓練 短期入所	ひとり暮らしやグループホーム移行するために自立に向けて支援していく	収入 支出 収支差額	42,696 34,390 8,306	40,523 32,489 8,034	95% 94% 97%
みどり養		収入 支出 収支差額	12,600 12,002 598	11,885 11,671 214	94% 97% 36%
いづみみ		収入 支出 収支差額	7,560 6,740 820	8,366 7,969 397	111% 118% 48%
かえで養		収入 支出 収支差額	8,340 6,456 1,884	8,132 6,175 1,957	98% 96% 104%
グリーンハウス		収入 支出 収支差額	15,040 8,827 6,413	13,095 10,272 2,823	87% 119% 44%
相談支援	研修に参加し、職員の高の向上を図る。	収入 支出 収支差額	3,422 4,437 △ 1,015	3,644 3,078 566	106% 69% -

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	69,606	66,430	△ 3,176	95.4%
障害福祉サービス等事業	218,971	208,107	△ 10,864	95.0%
その他	13,140	14,955	1,815	114.1%
事業活動収入計(1)	301,717	289,532	△ 12,185	96.0%
人件費	81,838	78,903	△ 2,935	96.4%
事業・事務費	104,954	99,786	△ 5,168	95.1%
就労支援事業	87,672	87,006	△ 666	99.2%
その他	1,824	1,861	37	102.0%
事業活動支出計(2)	276,288	267,556	△ 8,732	96.8%
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	25,429	21,976	△ 3,453	86.4%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
発電機更新事業	固定資産	3,240	0	3,240	4,000	△ 760
田圃キャラバン 送迎車	固定資産	3,476	2,100	1,376	3,476	0
印刷スキャ (若狭・おくえつ活用)	固定資産	1,070	0	1,070	1,370	△ 300
110準非常通報装置 (5カ所)	固定資産	1,600	1,200	400	1,600	0

事業報告

・やがいのある楽しい職場づくりを掲げて、みんなが意見を言える機会づくりとして職員会議等を毎月1回実施し、意見を聞きながら運営してきた。しかし、上半期は意見を言うことも取り入れられなかった。下半期は意見に対して仲介しらのアクションをおこすよう取り組んできたが年間で11名の退職者となった。
 ・職員体制の構築が進まず、支援体制の充実を図ることができなかった。
 ・各職員の1年以上休職研修に参加することができた。年度末には、事業所内での伝達研修を職員会議で行っている。
 ・関係者からの撤退を実施。また、美山作業所を廃止し、管理しやすい体制作りを取り組む。
 ・社員を中心として働く現場づくりは、食品加工においては温度記録管理（熱調子した食物の中心温度、冷凍・冷蔵庫の温度など）を社員の仕事として新たに定着させた。
 ・【厨房・食堂】チラシなどを配布するが大きな客数の増加とはならなかった。
 ・【農業】水田の集約については、企画事業の指導のもと、美山地区などの水田を返却するなど集約を行った。県の制度を利用し、農業生産法人と連携を深めることができ、作業委託に繋がった。
 ・職員全員が1つ以上の研修を受講できた。
 ・職員などの退職者が多く、新たなスタッフの確保が難しくなってきた。
 ・美山作業所への移動時間が往復1時間近くかかるため、作業時間が短くなり効率が悪くなったので福井事業所へ作業場所を移動し作業時間を長くできたことにより利用者の工賃向上につながった。
 【生活訓練】
 ひとり暮らしやグループホーム移行するために自立に向けて支援していく
 地域へ7名移行（うちアパートなど3名、グループホーム4名）。しかし、移行した人数より新規利用者が少なかったため平均利用者数が4.7名となり定員を大きく割っている状況となった。
 【短期入所】
 新規利用者6名。退職者があり、受入体制を整えることが出来ず、新規利用者の確保が難しい状況だった。
 生活支援員以外の時間帯も支援を必要とすることがあるが人員の確保が難しくなったため、自立に向けた支援としては、不十分だった。
 ・支援区分3および4の利用者がいるため、グリーンハウスの宿直者が6時と21時に見回る取り組みを実施。
 ・支援区分の低い方が多く、日常生活の入浴・整容など不十分な部分がある。支援が必要であるが十分な支援時間の確保が出来ず、自立に向けた支援としては不十分であった。
 ・支援区分の低い方が多く、問題行動や課題の多い方がおり支援時間以外の見守りが必要であったが、人員の確保が難しく改善に至らなかった。
 宿直者がおり、夜間の支援体制を確保できている。
 しかし、支援区分の低い方の利用が多いため今後の利用者の構成を考える必要がある。
 ・職員全員が1つ以上の研修を積極的に受講できた。
 ・職員などの退職があり、職員の高の向上にはつながらなかった。

平成28年度 丸岡南中事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
平成18年3月設立 【就労継続A型事業】（平成18年4月開設） ・ 弁当製造 ・ 学校給食製造 ・ 芦原青年の家 【生活介護】（平成18年10月開設） ・ 軽作業（事業所清掃、パン販売、弁当配達）、ウオーキング 【グループホーム】 まち中ホーム（平成23年7月開設） 定員5名 2階建て 自己所有物件 スプリングラー設備有 ハーツ成岡ハイム（平成24年4月開設） 定員7名 2階建て 自己所有物件 スプリングラー設備有 LCコープ敷地内に建設	

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	80,218	81,009	791	101.0%
障害福祉サービス等事業	72,187	71,483	△704	99.0%
その他	16,146	17,011	865	105.4%
事業活動収入計(1)	168,551	169,503	952	100.6%
人件費	83,727	31,204	△52,523	92.5%
事業・事務費	27,251	28,661	1,410	105.2%
就労支援事業	82,246	80,851	△1,395	98.3%
その他	2,709	2,020	△689	74.6%
事業活動支出計(2)	145,933	142,736	△3,197	97.8%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	22,618	26,767	4,149	118.3%

2 福祉活動報告

サービス	定員(A)	延べ利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考
就労継続A型	14	6,024	22.7	160.0%	施設外就労8名
生活介護	6	1,036	3.9	70.0%	
グループホーム	12	3,717	10.2	90.0%	2箇所

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
下処理冷蔵庫修理	修繕費	413		413	500	87
防犯設備	固定資産	960	780	180	960	0
食品保管冷蔵庫修理	修繕費	239		239	300	△61
110番非常通報装置(3ヶ所)	固定資産	960	720	240	960	0

5 事業内訳

事業	事業計画	予算額	決算額	予算対比	事業報告
全体（基本方針と目標）	・ 衛生に対する意識向上 ・ 環境を整備し、問題を未然に排除する。 ・ 社員が働きやすい環境づくりを目指す。 ・ 生産性の向上を目指す。 ・ 利用者、社員への質の高いサービス提供を目指す。 ・ その他、そのために従業員のスキルアップを図り、一人ひとりの意識向上に努める。	収入 168,551 支出 145,933 収支差額 22,618	166,543 139,776 26,767	98.8% 95.8% 118.3%	・ 事業の見直しにより収益性がよくなった。 ・ 職員の研修への参加は職員配置の関係上、予定通りには進まなかったが、来年度は職員、社員の配置を改善し、積極的参加につなげたい。 ・ 社員の適性を見極め、職場異動を実施（あわら事業所へ2名異動）
	・ 南中事業所面談での作業習熟度を高め多機能化を目指し、一人一人のできる作業種を増やす。 ・ 小、中学校内の給食調理施設内の業務に精通し、気持ちよく美味しい給食を振って頂けるよう努める。 ・ 県の施設で美味しく、おもてなしの心を込めた食事提供に努める。	収入 142,624 支出 125,754 収支差額 16,870	139,583 117,749 21,834	97.9% 93.6% 129.4%	【弁当】 生協への夕宅・惣菜製造から撤退、収益性向上に繋がる。 【学校給食】 衛生を第一に考え事業に当たる。弁当を縮小したことにより、衛生に対する知識向上の機会を増やすことなどが出来た。 【芦原青年の家】 夏季長期休暇時の、不均衡改善に繋がり、食事に関しても「美味しい」との意見が多く、芦原青年の家のスタッフとも信頼関係が築けている。しかし、職員が専属になるなど課題は多く、シフト制へ今後取り組む。 職員、社員の能力向上は達成できしたが、青年の家の繁忙期など、まだ事業開始から日が浅い為、年間の流れの把握が必要。
	・ 「働くこと」を含め、ニーズに合ったサービスを提供する。利用率の向上のため、日々充実したサービスの提供に努める。	収入 8,331 支出 8,089 収支差額 242	8,427 10,239 △1,812	101.2% 126.6% -74.8%	収益に関して、目標達成とはならなかった。定員の充足を課題にして来季も取り組む。 日々のプログラムに関して、新たに迎えた職員の専門スキルが高く、充実し、利用者も日々落ち着いて過ごせることができている。
グループホーム	ハーツ丸岡ハイム	収入 10,608 支出 5,598 収支差額 5,010	9,890 6,544 3,346	93.2% 116.9% 66.8%	相談支援や地域との連携により、10月に定員充足となった。11月には1名がアパートへ地域移行となった。年度中は、ランドリー室を増設するなど、利用者のニーズに応えた整備を実施。しかし、施設の設備についてまだ課題がある。夏冬の暑さ寒さ対応などの課題を来期に改善していきたい。
	まち中ホーム	収入 6,988 支出 6,492 収支差額 496	8,643 5,244 3,399	123.7% 80.8% 685.3%	相談支援や地域との連携により、4月に定員充足となった。12月に、1名が重病となり介護保険適用し、高齢者サービス付き住宅に転居。家族や関係機関と連携を多くとり、スムーズな移行を実現できたと。利用者は自分のことは自分で行い、日々の生活に対して充実されている。

平成28年度 おくえつ事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
平成13年設立 【就労継続A型事業】（平成13年開設） ・食品加工事業 ・自動車部品組付け事業 ・営業事業 【生活介護】（平成18年開設） 軽作業（自動車部品組付け）、自立訓練、ウォーキング、所外活動 【グループホーム】 たていし寮（平成15年4月開設） 定員6名 2階建て・賃貸物件 各部屋スプリングラワー、エアコン、トイレ完備	事業概要

2 福祉活動報告

サービス	定員(A)	延利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考
就労継続A型	34	5,605	20.8	60.0%	現員23名(年度当初24名)
生活介護	6	1,173	4.4	70.0%	現員5名(年度当初4名)
グループホーム	6	1,984	5.4	90.0%	現員6名(年度当初6名)

5 事業内訳

事業	事業内訳	事業計画	予算額	決算額	予算対比	事業報告			予算	予算差額	
						科目	取得価格	内訳			
就労継続A型 全体（基本方針と目標）	H28年事業計画	収入 ・定員充足による給付費の安定確保 ・就労事業の黒字経営継続 ・社員、職員ともに適正な人員配置	収入	104,887	105,597	100.7%	助成金・保険金	36,981	△ 203	99.5%	
			支出	99,693	91,825	92.1%	自己資金	57,921	2,743	105.0%	
			収支差額	5,194	13,772	265.2%		13,396	870	106.9%	
生活介護	H28年事業計画	収入 ・社員、職員の多能工化を目指す ・黒字経営の継続	収入	87,586	85,911	98.1%	助成金・保険金	104,888	3,410	103.3%	
			支出	83,627	76,675	91.7%	自己資金	25,794	△ 927	96.4%	
			収支差額	3,959	9,236	233.3%		26,015	△ 946	96.5%	
グループホーム	H28年事業計画	収入 ・利用者を28年度内に5名を目指す ・利用を継続してもらえようというニーズの把握に努める	収入	7,418	9,423	127.0%	助成金・保険金	46,557	△ 3,316	92.9%	
			支出	6,233	6,217	99.7%	自己資金	382	21	105.5%	
			収支差額	1,185	3,206	270.5%		99,694	△ 5,168	94.8%	
			収入	9,883	10,263	103.8%				8,578	265.2%
			支出	9,833	8,933	90.8%					
			収支差額	50	1,330	2660.0%					

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	37,184	36,981	△ 203	99.5%
障害福祉サービス等事業	55,178	57,921	2,743	105.0%
その他	12,526	13,396	870	106.9%
事業活動収入計(1)	104,888	108,298	3,410	103.3%
人件費	25,794	24,867	△ 927	96.4%
事業・事務費	26,961	26,015	△ 946	96.5%
就労支援事業	46,557	43,241	△ 3,316	92.9%
その他	382	403	21	105.5%
事業活動支出計(2)	99,694	94,526	△ 5,168	94.8%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	5,194	13,772	8,578	265.2%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
エレベータ修繕	修繕費	648	648		600	48
田植え機(福井・若狭共用)	固定資産	380		380	380	0
110番非常通報装置(2ヶ所)	固定資産	640	480	160	640	0

平成28年度 あわら事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要				
【就労継続A型事業】	(平成11年4月開設)			
・リサイクル事業	(空き缶・ペットボトル・段ボール・電線)の分別作業			
・軍手製造事業	(作業用手袋・プリント手袋・ウエス販売・リサイクル糸使用のカラースタンプ)			
・施設外就労	(福井錠螺(株)にてパーツの検品)			
【生活介護】	(平成25年4月開設)			
健康体操(リズム体操)、軽作業(ペットボトルのラベルはがし、地元広報紙のポストイング)、ウォーキング				
【グループホーム】				
たつかわ寮(平成12年10月開設)定員5名				
3階建て(内2.3階使用) 賃貸物件				
にしやま寮(平成18年10月開設)定員6名				
2階建て 賃貸物件				

2 福祉活動報告

サービス	延べ利用者数	1日平均利用者数	利用率(B)÷(A)	備考
就労継続A型	14	17.4	120.0%	施設外就労5名
生活介護	6	4.5	80.0%	
グループホーム	11	9.8	90.0%	2ヶ所

5 事業内訳

事業	項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
				助成金・保険金	自己資金		
110番通報装置(3ヶ所)	固定資産		960	720	240	960	0
	カメラ付インターフォン		162	121	41	162	0
	汚水排水ポンプ盤修理		264		264	264	0
太陽光計器変成器の取替工事			180	180	180	0	180

事業報告

事業	事業計画	予算額	決算額	予算対比	事業報告	
全体(基本方針と目標)	社員の個々の能力の向上を目指す 出勤率・利用率の向上を目指す 職員は質の高いサービスの提供	収入	115,341	114,922	99.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高いサービスの提供を目指し、職員の研修参加も積極的にを行った。(サビ管研修 2名受講) ・社員の確保を目指し、法人内部でのトライアルを実施。丸岡南中事業所から2名の転勤に繋がった。 ・出勤率が低い社員については、早期に相談員・あわら市福祉課連携し対策を考え、早期解決を図った。結果欠勤が少なくなった。
		支出	98,875	98,702	99.8%	
		収支差額	16,466	16,220	98.5%	
就労継続A型	社員の個々の能力の向上を目指す	収入	81,680	83,055	101.7%	<ul style="list-style-type: none"> 【リサイクル】金庫市場価格の下落により、売価低迷が好転しない状況が1年続いた。回収先増などで回収量の増加を目指したが、大きな改善には繋がらなかった。作業内容については、業務を細分化し、適正配置になるよう努めた。 【軍手】機械のメンテナンスなどで社員が出来ることを模索し実施。また、法人の取引先にも営業を実施。取引には結びつかなかったが、今後とも継続した声かけを行う。 【施設外就労】企業での作業ということもあり、社員にとっては良い経験になると考え、配置転換をしながら従事した。
		支出	68,193	69,434	101.8%	
		収支差額	13,487	13,621	101.0%	
生活介護	定員の充足	収入	13,447	10,501	78.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の充足を図り目指し、相談支援・あわら市と協議を行ったが、利用者確保には繋がらなかった。 ・利用者1名が、病気がより当サービスの利用終了(高齢施設へ)となる。各関連機関と連携したことにより、スムーズに別サービスへ移行することが出来た。
		支出	13,165	12,415	94.3%	
		収支差額	282	△ 1,914	-678.7%	
にしやま寮	地域に根差した生活を送り、自分でできることは自分で行う	収入	9,000	10,103	112.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇支援活動として年2回BBQ・年1回旅行と買い物等を行うことができるよう支援の実施。
		支出	6,819	6,607	96.9%	
		収支差額	2,181	3,496	160.3%	
グループホーム	たつかわ寮	収入	8,340	8,398	100.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズ把握に努め、余暇支援の充実に取り組み。 ・県外への野球観戦のニーズに対し、県内外のサービスを繋ぎ(相談支援員)実施。(2名)
		支出	7,922	7,640	96.4%	
		収支差額	418	758	181.3%	
相談支援	利用者一人ひとりに合わせた計画を作成する	収入	2,874	2,865	99.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内外からのニーズ取得に当り、利用者の対応にあたる(余暇活動・サビ管変更等)地区の協議会と、定期的な情報交換の実施。
		支出	2,776	2,606	93.9%	
		収支差額	98	259	264.3%	

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	34,240	34,154	△ 86	99.7%
障害福祉サービス等事業	67,937	67,356	△ 581	99.1%
その他	13,164	13,414	250	101.9%
事業活動収入計(1)	115,341	114,924	△ 417	99.6%
人件費	28,974	28,769	△ 205	99.3%
事業・事務費	30,976	29,748	△ 1,228	96.0%
就労支援事業	38,306	39,510	1,204	103.1%
その他	619	677	58	109.4%
事業活動支出計(2)	98,875	98,704	△ 171	99.8%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	16,466	16,220	△ 246	98.5%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	助成金・保険金	自己資金	予算	予算差額
110番通報装置(3ヶ所)	固定資産	960	720	240	960	0
カメラ付インターフォン	固定資産	162	121	41	162	0
汚水排水ポンプ盤修理	修繕費	264		264	264	0
太陽光計器変成器の取替工事	修繕費	180		180	180	0

平成28年度 小浜事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
小浜事業所(平成7年4月設立) 【生活介護事業】(平成19年4月開設、小浜・名田庄・高浜の3拠点) 入浴サービス、健康活動(リハビリ体操・発声練習・ウォーキング)、ものづくり(貼り絵・木工)、軽作業、請負作業(パン販売、館内清掃・管内職)、スポーツ活動(ベタテラック、卓球ハレール)、個別活動(塗り絵・バスル)、所外活動等【グループホーム】 かみかたと寮(平成18年4月開設、平成29年1月末廃止) 5階建・賃貸物件、11月に利用者ゼロとなり新たな入居者が見込めず廃止。 しいの実ハウス(平成24年4月開設)スロウテララー設備有 2階建・自己所有、木造で家庭的雰囲気のあるグループホーム。宿直者有。	

2 福祉活動報告

サービス	延利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考
生活介護	20	21.1	110.0%	3ヶ所
グループホーム	4	4.46	50.0%	かみかたと寮(1月まで)
グループホーム	7	1,758	70.0%	しいの実ハウス

5 事業内訳

事業	H28年事業計画	予算額	決算額	予算対比
生活介護	・より安心・安全に過ごさせる、明るく元氣な施設を目指す。 ・定期的な施設巡回により危険箇所を排除、掲示物等による情報発信。 ・全事業の定員充足率を現状より増やす。 ・サービスの質を高め、利用者の満足度向上を目指す。研修等の積極参加を促し、各支援員が年1回以上は参加する。 ・利用者・保護者と年1回以上行い、支援と活動を更に充実させる。	収入 80,906	79,464	98.2%
	・体調管理と個別面談の充実を図り、欠席率減少を目指す。(7)と月延べ4名以上増)	支出 76,837	73,259	95.3%
	・個別支援計画と提供する活動の充実を図り、個々の満足度向上を目指す。 ・高浜作業所の有効活用を努め、利用者をおグループ化し個々の支援充実を向上を図る。 ・月1回以上の所外活動により、社会参加・地域との関わりを増やす。	収支差額 4,069	6,205	152.5%
グループホーム	・相談支援事業所等と連携し、特別支援学校への営業活動(3ヶ月1回程度)を積極的にを行い、共生1名増を目指す。 ・地区の「キョウ」大会や小浜市「まつり」大会などの地域行事等、案内や付添支援により、余暇活動と社会参加を積極的に行う。	収入 5,976	2,825	47.3%
	・相談支援事業所等と連携し、特別支援学校への営業活動(3ヶ月1回程度)を積極的にを行い、共生1名増を目指す。また、体験入居受入も積極的に行う。 ・ピアサポートを促し、入浴や食事などを寮生同士が助け合い、支援員の介助を減らし、利用者だけで出来ることを増やす。	支出 7,302	5,665	77.6%
		収支差額 △1,326	△2,840	214.2%

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	0	0	0	
障害福祉サービス等事業	80,376	78,645	△1,731	97.8%
その他	530	821	291	154.9%
事業活動収入計(1)	80,906	79,466	△1,440	98.2%
人件費	32,136	31,836	△300	99.1%
事業・事務費	44,585	41,308	△3,277	92.6%
就労支援事業	0	0	0	
その他	116	117	1	100.9%
事業活動支出計(2)	76,837	73,261	△3,576	95.3%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	4,069	6,205	2,136	152.5%

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
小浜防犯設備(カメラ・110番自動通報)	固定資産	1,282	962	320	1,282	0
かみかたと寮修繕(借主に返還の為)	修繕費	1,166	0	1,166	1,500	△334
しいの実防犯設備(110番自動通報)	固定資産	320	240	80	320	0
しいの実股鞆突修繕	修繕費	205	0	205	203	2
名田庄トレイルアリアフリー改修	修繕費	141	0	141	140	1

事業報告

事業	予算対比	決算額	予算額	予算対比
生活介護	98.2%	79,464	80,906	98.2%
	95.3%	73,259	76,837	95.3%
	152.5%	6,205	4,069	152.5%
グループホーム	47.3%	2,825	5,976	47.3%
	77.6%	5,665	7,302	77.6%
	214.2%	△2,840	△1,326	214.2%

事業報告

- ・目標平均利用者数21.5人/日に対し、年間の平均で21.1人/日と少し下回った。
- ・個別面談により、欠席しがちな利用者の利用率向上に努めており、支援費増に繋がったケースもあるが、再度欠席が続くなどを繰り返している状況。
- ・5月～産休明け職員が若狭事業所となったため人材費減
- ・支援力向上を目的に、積極的に研修参加を促している(8名全員受講済)
- ・前年度使用出来ていなかった、高浜作業所を週2～3回活用してきた。小グループ化により活動の幅が広がっている反面、職員分散により非効率もあり、29年度中に撤退も含め高浜町と要相談
- ・月平均2回以上、積極的に所外活動を実施中。色々な経験と地域との関わりを増やすことが出来ている。
- ・後期から内職軽作業を受注し、利用者の活動に取り入れ継続中、安定した工資の増額を目指してきた。

グループホーム

- ・目標利用者数3人に対し、9月末で2人、10月末に1名退寮。11月末に1名退寮し、12月に寮生不在となる。
- ・相談支援事業所等の関係機関に新規利用者確保の働きかけを続けて来たが、最寄駅やコンビニまで徒歩20分かかると、立地場所の利便性に欠け、新規利用者の確保が困難な状況。
- ・上半期3人の相談を受け、宿泊体験受入れもしてきたが、本人との意向が合わず入寮には繋がらず。
- ・今後も新規利用者確保が困難と思われ、1月末をもってかみかたと寮を廃止した。
- ・今後、小浜市内に新しくグループホームを展開することも含め検討している。

グループホーム

- ・目標利用者数7人に対し、現在寮生6人。年度内に3名の体験入寮を受入れてきた。
- ・相談支援事業所及び、特別支援学校に新規寮生希望者を募集している意向を伝え、紹介を仰ぐなどの取り組みを続けてきた。
- ・特別支援学校生の体験入寮受入れてきたなかで、平成29年4月に新卒者1名入寮。
- ・これにより、定員7名充足。

平成28年度 丹南事業所 事業・決算報告

1 事業概要

事業概要	
平成4年設立 【就労継続A型事業】	平成4年開設
・ベイック事業	パン製造。主に外販を主に販売。 膳野菜、北鱈江 S.A にて販売中
・スイーツ事業	クッキー、焼き菓子の製造。 お中元・お歳暮等のギフトとして販売
・武生薬市店運営	越前夢工房からメガネ型パンの受託作業 武生にあるシヨッピンモールで、パンの店舗販売

3 事業活動収支

事業	予算(A)	決算(B)	予算差額(B)-(A)	予算対比
就労支援事業	63,245	58,756	△ 4,489	92.9%
障害福祉サービス等事業	38,154	38,135	△ 19	100.0%
その他	17,190	18,225	1,035	106.0%
事業活動収入計(1)	118,589	115,116	△ 3,473	97.1%
人件費	25,694	24,143	△ 1,551	94.0%
事業・事務費	16,407	18,009	1,602	109.8%
就労支援事業	74,242	73,428	△ 814	98.9%
その他	109	134	25	122.9%
事業活動支出計(2)	116,452	115,714	△ 738	99.4%
事業活動資金支出差額(3)=(1)-(2)	2,137	△ 598	△ 2,735	-28.0%

2 福祉活動報告

サービス	延利用者数	1日平均利用者数(B)	利用率(B)÷(A)	備考
就労継続A型	5,532	20.5	100.0%	実労働者数22名

4 施設整備および主な修繕等報告

項目	科目	取得価格	内訳		予算	予算差額
			助成金・保険金	自己資金		
本体付属工事(エアコン工事)	修繕費	134		134	150	16
110番非常通報装置	固定資産	320	240	80	320	0

5 事業内訳

事業	H28年事業計画	予算額	決算額	予算対比	事業報告	
全体(基本方針と目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社員が主力となる職場 ・社員の仕事に対する意識の向上を図る ・社員の能力を充分に引き出せる職員の指導力を養う 	収入	118,589	100,604	84.8%	<p>・計画に対して、今まで職員の仕事としていたことを、社員に移行できる仕事は何かを検討するということに焦点をおき事業に取り組む。パンの焼成作業には、新たに5名の社員を従事させ、技術指導を行った。職員がしていた作業を任せただけにより、職員の人件費(残業時間)を大幅に減少することになった。</p> <p>(平成27年度残業時間計:902時間 →平成28年度残業時間計:575時間)</p> <p>まだ、ラッピングやパソコンを使った業務にも任せられる作業があるため、引き続き資料を写真を用いて作成し更なる、社員中心の事業所にする。</p> <p>・研修にも積極的に参加し、指導力向上に努めた。福祉(精神障がい・虐待等)延べ6名参加 事業(ハサップ・敦島パン・新商品研修)延べ10名参加</p>
		支出	116,452	101,202	86.9%	
		収支差額	2,137	△ 598	△28%	
就労継続支援A型	<p>【ベイック】 山崎製パンの冷生地のみでなく敦島製パン等の冷生地も検討し価格の見直しを行う。 再度スクラッチ生地の製造を行う。目標として薬市に生地玉をおろし材料費削減を行う。 【スイーツ】 業務委託で製造のみが行える受注をセルブ振興センターに協議する。 【受託】 注文数量の安定した提供。</p>	収入	118,589	100,604	84.8%	<p>【ベイック】 ・スクラッチ生地(粉から生地を作る方法)の試作会を何度か開き、職員が納得する生地ができた。め、丹南をはじめ、薬市にも導入している。薬市の搬送も試走重ね社員で配達できるように調整した。</p> <p>・山崎パンだけでなく敦島パンの冷生地も導入しバラエティーにとんだ店内に変えてきた。</p> <p>【スイーツ】 越前夢工房とメガネ型パンの単価交渉を遂行。 何度かセルブ振興センターから、作業の注文があったがマーキングや利益の兼ね合いで断っている状況。また、菓子製造をする社会福祉法人は多数あり、差別化を図るためにまずはパッケージの見直しを大学の協力を得て協議中。</p>
		支出	116,452	101,202	86.9%	
		収支差額	2,137	△ 598	△28%	